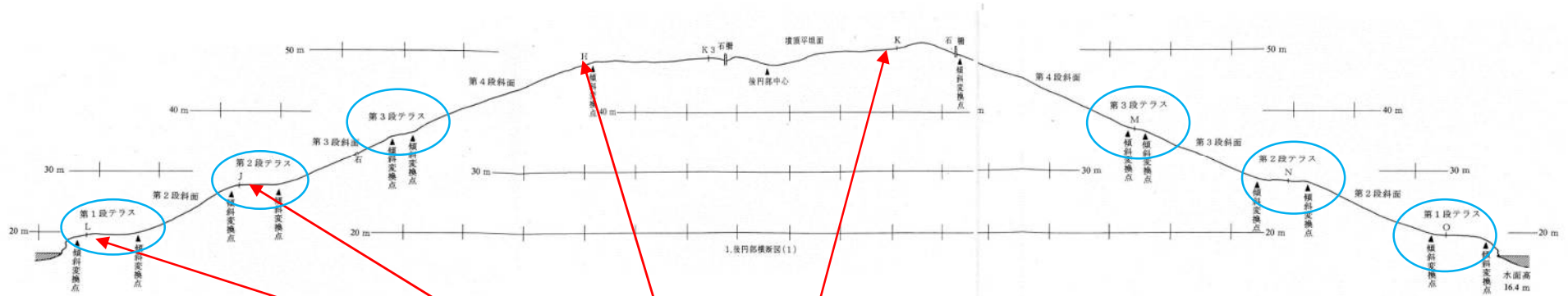


仁徳天皇陵後円部について ～後円部は4段築造か？～

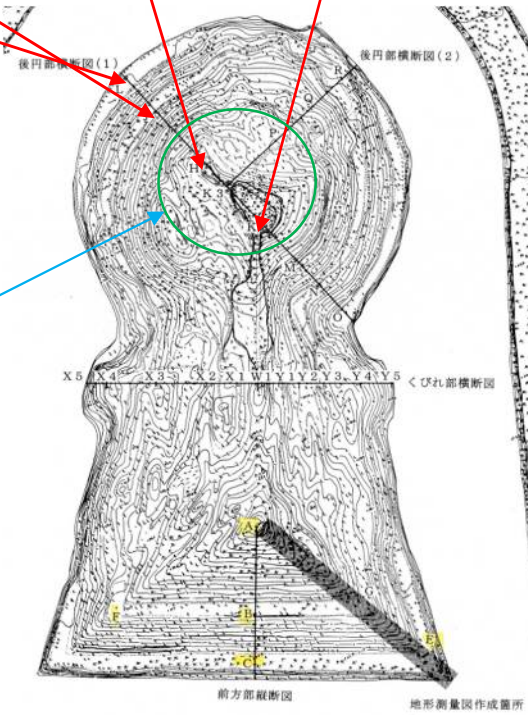
メモ) 鉄本 2022.09.13

当博物館の文化遺産展示室に展示されている仁徳天皇陵古墳の模型を見ると、後円部が4段築造のような作りになっています。そこで、宮内庁書陵部発行の「紀要第52号」記載の測量図で確認してみました。テラスが3つあり、4段築造？と思えなくもありませんがテラス幅が狭く、第4傾斜面は他の斜面より長く微妙な築造となっています。



後円部テラス幅	北西側	南東側
第1段テラス	10. 2m	9. 2m
第2段テラス	8m	8. 4m
第3段テラス	2. 8m～3. 0m	

後円部斜面	傾斜角	傾斜長
第1段斜面	水面下のため不明	
第2段斜面	21～25 度	17. 5～21.3m
第3段斜面	約22度	20. 3m
第4段斜面	約25度	32. 5m



第3テラスは幅が約3mと他のテラスに比べて狭く、これが崩落土堆積によるものか不明であるが、テラスとするならば後円部は4段築造となる。

一方で、工法上の問題に起因するものとも考えられる。

(宮内庁書陵部紀要第52巻からの要約)